

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

株式会社フィールズ

## ②施設・事業所情報

名称：新鶴見はなかご保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：甘竹 志光	定員（利用人数）：60名（61名）
所在地：〒230-0002 横浜市鶴見区江ヶ崎町17-8	
TEL：045-642-3535	
ホームページ：https://www.hanakago.ed.jp	
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：平成24年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 幸友会	
職員数	常勤職員： 23名 非常勤職員： 7名
専門職員	（専門職の名称） 名 管理栄養士：1名
	園長：1名 栄養士：1名
	主任：1名 調理士：1名
施設・設備の概要	（居室数）保育室：6 トイレ：3 調理室：1 事務室：1
	（設備等）園庭：あり 屋上：あり

## ③理念・基本方針

<p>【保育理念】</p> <p>家庭・地域・保育園の絆を大切にする～一つの大きな家族でありたい～</p> <p>「心・技・体」を育み、子どもの個性と可能性を拓ける</p> <p>（心）優しい心、思いやる心、マナーと道徳心を育む</p> <p>（技）子ども達の様々な可能性を広げ、就学に向けて教育基礎を育む</p> <p>（体）食育と共に健康で丈夫な体づくりを行い、基本的な生活習慣を育む</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## ④施設・事業所の特徴的な取組

<p>保育の基本方針にある（心）ではたくさんの日常生活や遊びを通して思いやりとマナーを学んでいけるよう取り組んでいます。自分の思いを話し、相手の思いにも気づく中で共に育ちあう関わりを大切にしています。</p> <p>また、遊びの中で異年齢児交流も取り入れ、関わりを通じてのふれあいを大切に、他者を思いやる心を育てています。</p> <p>（技）専任講師による毎週の体操教室（2～5歳児）や隔週でのリトミック教室（1～5歳児）、絵画教室（3～5歳児）を取り入れ、一人ひとりの個性を伸ばしています。</p> <p>（体）2歳児から食育活動を行い、本物の食材に触れながら『食』の大切さを体感できるようにしています。給食では栄養士が旬の食材を取り入れながらバランスを考えた献立を作成しています。追いかけてこやドッジボールなどを十分に行える園庭では安全に子ども達の遊びを保証しながら、体づくりをしています。</p> <p>このような豊かな生活体験を通して基本的な生活習慣の確立へと導いていけるようにしています。</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和3年6月11日（契約日）～ 令和4年4月18日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1 回（ 2017年度 ）

### ⑥総評

#### ◇特に評価の高い点

##### 1)生活経験を通じた保育活動の工夫

子どもたちは、四季折々の行事や、発表会、作品展などを楽しみにしています。室内設置の運動大型遊具、園庭遊び、専門講師による体操教室やリトミック、戸外活動などで、十分身体を動かして丈夫な体作りに取り組んでいます。散歩での地域住民との交流や高齢者施設との交流、勤労感謝で消防署の皆さんへ手作りカレンダーを届けたり、芋堀りや社会見学などに出かけています。食育では、マナーや季節の食材を学んだり、クッキングを楽しんだり、野菜を栽培し収穫後は給食に利用したりしています。子どもたちは造形教室も楽しみにしています。遊びや生活の中で様々な経験を重ね、友だちと関わり、思いやりや意欲を高め合って成長しています。

##### 2)職員が連携した保育実践

毎日の昼礼や各会議での話し合い、内部研修での学びなどで職員は密にコミュニケーションを図り、情報共有しています。話し合いでは活発な意見交換をしています。課題に対し、様々な試みを実践し、次に繋げるようにしています。栄養士と連携をした丁寧な食育活動や食に関する情報提供、コロナ禍での感染リスクを考慮しながらの行事の取組の検討・実施など全職員が協力しながら子どもに関わり、育ちを見守っています。

##### 3)子育て支援事業の取組

地域に開かれた園として、子育て支援事業に力を入れています。事業は子育て支援専門職員を配置し、「地域との連携年間計画」を立てて進めています。長引くコロナ禍で取組を控えた期間もありますが、園庭開放、身体測定、育児相談、交流保育、出張保育のほか、育児講座では地域ニーズに配慮した、園の嘱託医による子どもの成長等育児講座、離乳食試食会、ふれあい遊び講座を予定しています。お知らせは園外掲示のほか、近所のスーパーマーケットやコンビニエンスストアに掲示させてもらっています。

#### ◇改善を求められる点

##### 1)標準的な実施方法の見直しや改定

標準的な実施方法は、年に一度、および必要時に、見直しや改定が行われています。手順や記録の仕方、業務上のルールなどは、適宜職員間で話し合いや確認を行っています。しかし、一部のマニュアルや規程において定期的な見直しや改定が不十分な部分があります。検討が期待されます。

##### 2)工夫された園からの情報発信

登園時に保護者から家庭の様子を聞き、降園時に園でのその日の様子を伝えています。連絡用アプリケーションソフトを活用し、活動内容などを伝えています。園だより等でも伝えています。保護者からは子どもの様子を知りたいとの要望があります。コロナの影響で保護者が園内に入れない状況となっていますので、写真や動画、連絡帳などの情報発信の更なる工夫により、園での様子を知らせることが期待されます。

### 3)環境整備の工夫

園舎の構造上のこともあり、子どもが自由におもちゃ等を選び、遊びこんだり、一日を通してゆったり過ごせる環境、備品などの収納について、職員は園の課題としてとらえています。おもちゃや素材の提供、空間の使い方など、試行錯誤しながら進めています。さらなる実践や工夫が期待されます。

### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価を受けたことで、保護者からの意見や職員からの意見、第三者評価機関からの評価など、様々な視点からの意見や評価を頂けたことは今後の保育園運営に大きなプラスになると感じました。

普段の保育だけでは気付けない事や、保護者とのコミュニケーションの仕方の工夫、地域との交流や支援の在り方など今回の第三者評価を通して気づいた保育園の良いところや課題等、今後の保育園運営に活かしていきたいと思えます。

新鶴見はなご保育園 園長 甘竹志光

### ⑧第三者評価結果

別紙2のとおり